

令和7年度 第1回 大阪府立枚方高等学校 学校運営協議会 議事録

日時 令和7年6月27日(金)

13時30分～15時00分

場所 本校 図書室

1 学校長挨拶

6月は体育祭があり昨年の課題を踏まえて全員で盛り上がる体育祭にできた。

特に「応援」の要素を重視しエールの交換を導入したり、全種目にわたって各団が応援をしたりと活気あふれる体育祭であった。

その中心で活躍した3年生は進路にむけて頑張っている。

2 出席者紹介

3 会長選出

4 事務局より

(1) 校長より 資料説明

・令和6年度 学校経営計画及び学校評価について

主に、学校教育自己診断の結果をもとに分析した。

生徒の主体性の育み方について、部活動、ボランティア、地域の貢献活動における取組を話し合った。指導においては、生徒との対話を重視し進めた。

生活指導においては、対話をしながら生徒に気付かせる指導を行った。

校則の見直しについては、組織を立ち上げ生徒の意見を聞きながら進めている。今後は生徒や保護者と、学校側との連携を話題にし、さらに緊密にしていきたい。

・令和7年度 学校経営計画及び学校評価について

学校経営計画は昨年度とあまり変えず、ブラッシュアップを目的とする。

国の事業(高等学校DX加速化推進事業)を活用して、本校の施設を充実させていく。

また、自治活動を重視し、生徒の主体性を促して学校生活を充実させていきたい。

・スクールミッション及びスクール・ポリシーについて

添付資料の通りであるが、今後の府立高校改革の中で見直すこともあり得るので、その際は皆様にご意見をいただきたい。

・入試改革について

令和10年度入試についての説明

入学者選抜の新たな理念は生徒の個性を輝かせ、可能性を引き出し、充実した高校生活につながる選抜であることである。そのために「学校特色枠」の設定を行う。

各高等学校は、各校のアドミッションポリシーに応じた実施区分を設定し、募集を行う。

・DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)執行計画書について

令和7年度の2期分に応募して認められた。資料には、2期目の執行計画を記載している。

具体的な事業目標としては、昨年度に校内の環境整備を行い、設置した、「グローバル・クリエイティブ・ラボ」を活用し、生徒どうしや教員、地域の人々との対話力を育成し、分析力、創造力、表現力を生かした発表活動や交流、貢献活動に取り組むことを掲げている。

(2)進路指導部より 資料

・60期生の進路状況を記載。

スタディーサポートを導入しながら進路決定を行っている。

(3)教務部より 資料説明

・教科書の選定の流れの確認をお願いします。

現在の現状を記載している。

・昨年度3学期から出欠状況、成績処理等を、新システムで運営している。

現在、教務部長を中心にマニュアルの作成を行っている。

・令和7年度入学者選抜について

今年度からオンライン出願、およびデジタル採点が導入された。今回の作業は完了したが、現段階ではまだシステムに慣れていないのでさらに習熟が必要である。

(4)その他

・摂南大学・企業と連携して、文化祭の出し物を行う予定である。生徒から希望者を募った。

5 協議、意見交換

① 中学校ではルールメイキングは ICT 委員が職員会議などで生徒がプレゼンする。生徒指導は中学では生徒支援に変えている。高校ではどのような取り組みを行っているか。

→生徒指導部ではなく生徒部である。生徒部の中には生徒会も所属している。

現在、学校生活向上委員会を立ち上げて生徒との意見交換を予定している。

→過去の状況も踏まえて生徒、保護者、教員の意見を尊重して考えている。また、地域の方々の意見も大事にしたい。

② ・保育所の横を枚方高校生が通るとき沈んでいる生徒を見ることがない。

・主体性を育むためにはどのような指導をしているのか

→多くの場面で意見を決定する指導を意識している。

・最終的には自分で決めなければならない。最後は自分で決めることを言っている。

→判断する機会は教育活動の中に盛り込んでいる。

・対話をする過程において決定権を委ねることが大切である。

③ ・デジタル採点とはどのようなものか。

→答案のデータを読み込んでパソコンで採点することである。

・入試の時期が一番気になる。アドミッションポリシーで決めることが大きなポイントである。

入試改革という仕事を増やし、働き方改革を求めていることは矛盾している。

時期を早めれば教科の範囲を早く終わらなければならない。

探究活動も意識していかなければならない。

④ ・天候の判断はどのようにしているか。

→雷雨などは気が付いた教員が放送している。今後専用の機器導入を検討していく。

・小中学校は大雨警報でも対応しているが、高校はどなっているか。

→高校はまだその対応は変わっていない。

資 料

- 1 令和6年度 学校経営計画及び学校評価
- 2 令和7年度 学校経営計画及び学校評価
- 3 スクールミッション及びスクール・ポリシー
- 4 入試改革について
- 5 DX ハイスクール執行計画書
- 6 進路指導部より
- 7 教務部より
- 8 広報用リーフレット等

次回、第2回学校運営協議会は、11・12月を予定しております。